

# 令和4年度高知県建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会(有限会社富山建設)

## <デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：自動追尾型TS、3次元設計データ作成ソフト

## <工事概要>

工事名：道交地防安（1.5車）第103-038-5号 県道大方大正線防災・安全交付金工事

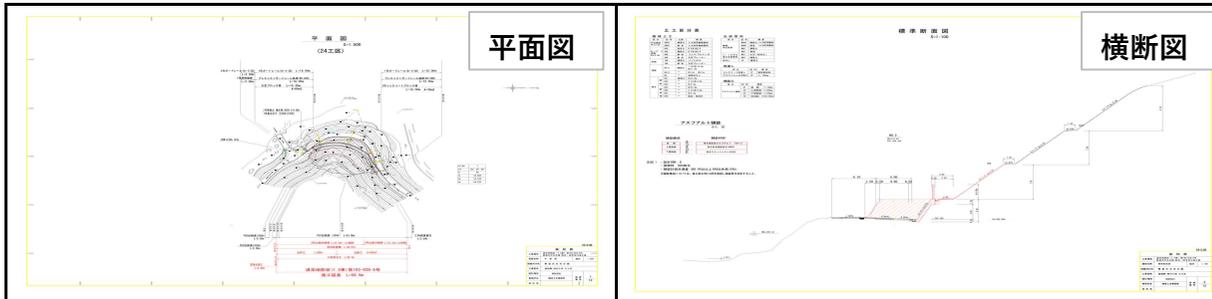
請負代金：61,941,000、工期：令和6年3月16日～令和6年11月5日

工事内容：施工延長 L=58.9m

掘削工 V=1100m<sup>3</sup> 法面工 A=208m<sup>2</sup> 場所打擁壁工 V=188m<sup>3</sup>

## <参加者>

17名（建設会社：4社8名、県職員：2名、市職員：7名）



プロセス	使用機械	従来	ICT	効果	評価	施工者のコメント
測量	LN-150・快測ナビ (今回購入)	2人・日	1人・日	-50%	従来工法+ICT工法で施工を行っている為、ICTのみで運用可能になれば-50%の効果となり大幅な時間の短縮が期待され作業効率の向上につながる。	現在は、まだまだ機器等に不慣れである為、従来の方法の測量とICT測量機器及びソフトウェアを使用して労力及び時間をかけておりますが、ICT測量機器のみの運用が出来るようになれば、時間を大幅に削減短縮する事ができ作業効率の向上につながります。 今後も機器等に慣れるように、ICT測量機器の活用するタイミングがあれば積極的に活用しようと考えています。
3次元設計データ	SiTECH3D (今回購入)	1人・日	1人・日	-	今回、側溝のみでも検討していたが道路線形がR30ときついカーブの現場の為、作業効率の期待が望めないと判断し、次回以降単純工法で挑戦したい。3次元設計データが上手く運用できれば現場の見える化につながり伝達手段として最高のツールとなり安全向上につながる。また、事務所内での作業となる為、女性の活躍の場としても期待。	
ICT施工	従来どおり	-	-	-		
3次元出来形管理	従来どおり	-	-	-		
合計		3人・日	2人・日	-30%		
発注者のコメント	自動追尾型TSの活用による効率化を実感できており、機器操作の習得を行うことにより、更なる生産性向上につながる。今後は、3次元設計データの作成を有効活用し、また、女性活躍の場として活躍してもらえることを期待する。					